

第 13 回 免震フォーラム

建物の長寿命化と免制震構造～今後のリスクを乗り越えて～

開催概要

- 日 時 : 2010 年 9 月 1 日(水)13:00~17:00 フォーラム、17:30~意見交換会
- 会 場 : 工学院大学 新宿キャンパス 3 階 URBAN TECH HALL
- 住 所 : 東京都新宿区西新宿 1-24-2
- 定 員 : 250 名 (8 月 27 日締切、定員になり次第締め切らせていただきます)
- 参加費 : フォーラム [会員:2,000 円、非会員:3,000 円、学生:無料]
意見交換会 [2,000 円] ※当日、受付にて徴収
- 主 催 : (社)日本免震構造協会、(社)日本建築構造技術者協会
- 後 援 : (社)日本建築学会、(社)日本建築家協会、(社)日本建築士事務所協会連合会、
(社)日本建築士会連合会、(財)日本建築防災協会、(社)建築業協会、
NPO 法人建築技術支援協会、NPO 法人耐震総合安全機構 (順不同)

趣 旨

CO₂ 排出量規制、資源循環等の環境問題が、世界的にクローズアップされています。建設業界ではフロー消費型からストック型への転換が提唱されていますが、その対策の一つとして「建物の長寿命化」があります。

しかし、建物の長寿命化には巨大地震と経年劣化という2つのリスクが待ち受けています。今回のフォーラムでは、これらのリスクに着目し、長寿命化に対する免震・制震構造の長所だけでなく、想定外の課題についても探ってみることにしました。従来にはない新しい提案と、会場とのディスカッションにより、今後の免震・制震構造の更なる発展に繋げる機会となれば幸いです。

申 込 み

申込書に必要事項を記入し、メール(jssi@jssi.or.jp)又は FAX(03-5775-5434)で日本免震構造協会までお送り下さい。追って参加証をお送りします。**※申込書は2枚目になります。**

プログラム

時間割	内 容	講 師
13:00	主催者代表挨拶	社団法人日本免震構造協会 会長 西川 孝夫
13:10	「地球温暖化と建物の長寿命化について」	福岡大学 教授 稲田 達夫
14:00	休憩(10 分間)	
14:10	「積層ゴムの耐久性は 200 年？」	福岡大学 教授 高山 峯夫
14:40	「巨大地震でも無損傷 ～長寿命建築を可能とする新構造システムへの取組み～」	(株)竹中工務店 大畑 勝人
15:00	「アクティブ制震技術を用いた地震で揺れない建物の実現」	(株)大林組 佐野 剛志
15:20	「長周期・長時間地震動に対する免震建物の耐震性」	清水建設(株) 北村 佳久
15:40	「積層ゴム特性の経年変化 ～約 20 年間使用した積層ゴムの調査事例～」	(株)竹中工務店 濱口 弘樹
16:00	休憩(10 分間)	
16:10	質疑・討論	
17:00	閉会	
17:30	意見交換会	

問い合わせ先

社団法人日本免震構造協会 事務局 電話. 03-5775-5432, E-mail. jssi@jssi.or.jp

会場案内

会場：工学院大学 新宿キャンパス 3階 URBAN TECH HALL

住所：新宿区西新宿1-24-2

- 交通：
- ・JR「新宿駅」下車、西口より徒歩 5 分
 - ・京王線、小田急線、地下鉄各線「新宿駅」下車、徒歩 5 分
 - ・都営大江戸線「都庁前駅」下車、徒歩 3 分
 - ・西武新宿線「西武新宿駅」下車、徒歩 10 分



申込書 送付先：日本免震構造協会まで [メール(jssi@jssi.or.jp) 又は FAX(03-5775-5434)]

会員種別 ※下記、該当する会員名称に○をつけて下さい <input type="checkbox"/> 日本免震構造協会 [第1種正会員、第2種正会員、賛助会員] <input type="checkbox"/> 日本建築構造技術者協会 <input type="checkbox"/> 後援団体[日本建築学会、日本建築家協会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築士会連合会、日本建築防災協会、建築業協会、建築技術支援協会、耐震総合安全機構] <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 学生	
「意見交換会」の出欠 ※○をつけて下さい 出席 ・ 欠席	JSCA「構造士」点数の希望 ※○をつけて下さい 希望する ・ 希望しない
勤務先・部署・役職 	
氏名 (ふりがな)	電話番号
勤務先住所 (〒 -)	
E-mail	